

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第91回 「子どもの主体性を育てる」

こころの相談員 前田 里美

今社会に求められている人材は、自ら考え行動できる人ではないでしょうか。では、どうすればそんな人になれるのでしょうか。現代っ子は自分が何を感じているのか、どうしたいのか、自分の気持ちを表現できない子どもが目立つようです。何かしたい欲求はあるのに自分からは行動しなかったり、親の期待に添おうと自分を抑えてしまう子がいます。

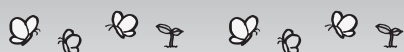
気がつかないうちに良かれと思ってしている親の言動が、子どもの主体性・自主性の芽を摘んでいることもあります。また、核家族で母親との関係が濃厚過ぎることもその要因の一つとも言われます。度々親が行動を先取りしてしまったり、親の考えを押し付けたりしては子どもの主体性が育ちません。子どもが自発的に行動するのをあと少し待ってみませんか。

自ら「感じる」「想像する」「思考する」と、自ら「行動する」ようになるはずですが、せっかく自ら行動したものにあまり口出ししないほうがいいでしょう。親から見ればくだらない事でも、子どもにとっては大きな意味のある事なのかもしれません。

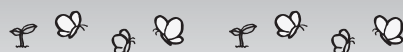
子どもの主体性を育てる為には、親自身もまた主体的であることが重要です。マニュアルに頼るばかりでなく、そこに何か自分らしいアレンジをしたり、その場の素直な感情を子どもに伝えることで、親の「感じる」事や「思考する」事が子どもの心に届くと思います。

親はゆとりと忍耐で、焦らず急がず、子どもの主体性・自主性が育つのを見守っていききたいものです。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。



6月活動報告



離乳食教室（前期）

4・5ヶ月の赤ちゃんとお母さんを対象に行っています。

管理栄養士・保健師から
離乳食開始の目安や離乳食作りのアドバイスと
離乳食の試食を行います。



今年度は8月27日、10月22日、12月17日、H26年2月25日に実施予定です。

お申し込みは、子育て健康課までご連絡ください。TEL377-5652

離乳食（後期）も行っています。詳しくは健康カレンダーをご覧ください。